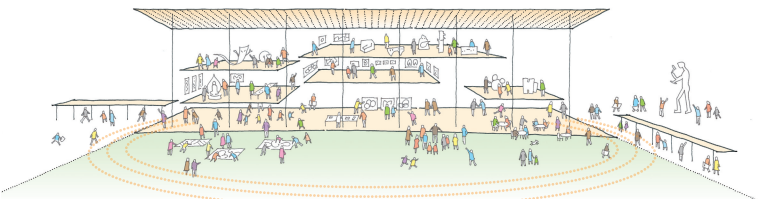


空間と運営を一体的に捉えた取組み体制により、20年の事業期間を活かし『とっとりの未来をつくる』美術館の実現

- 県民が主役のアート活動拠点として、
みんなでつくる「とっとりアートプレイス」
～みらいをつくる美術館を目指して～



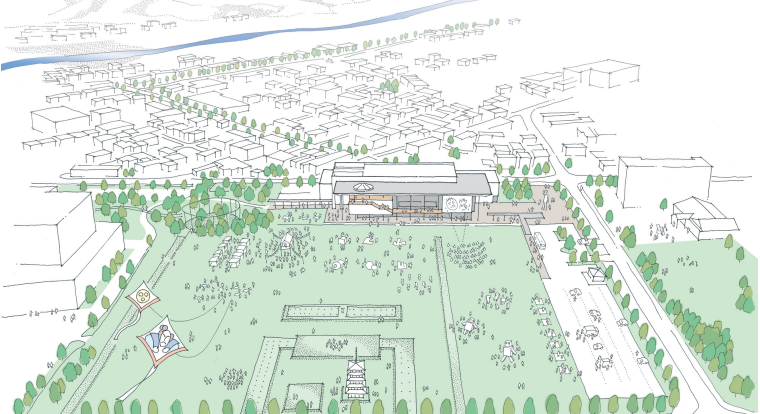
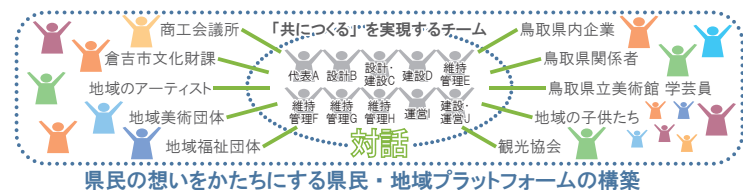
● アートとの多彩な出会いがある空間

- ≫ とっとりらしさに包まれた居心地の良い美術館
- ≫ 立体回遊による多様な空間体験が創造性を喚起
- ≫ 歴史性・地域性を創造的に継承した姿

● 共に・集まり・つくるを誘発する運営

- ≫ 県と民間の協働による鳥取発の運営モデル
- ≫ 館内の様々な場所でアートに触れるしかけ
- ≫ 地域の持続的成長につながる美術館活動の展開

● 各分野で実績豊富な企業と県内有力企業による チームで、永く親しまれる美術館を“共につくる”



倉吉の自然・風土・景観と調和し、周囲の環境と一体となった美術館



大御堂廃寺跡から見た美術館 人々の活動が主役となって美術館の姿を創り上げる

● 『とっとりの未来をつくる』美術館

- ≫ ひとをつくり、育てる →ひとをつなぐ
心地よさ・交流・未来への人材の育成
- ≫ まちをつくり、育てる →まちをつなぐ
倉吉のまちづくり・美術館連携の拠点
- ≫ 文化をつくり、育てる →文化をつなぐ
自然、歴史、文化の継承と創造・発信



白壁土蔵群



打吹山長谷寺



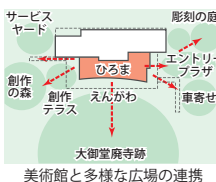
大屋根とエントリープラザがだらかに人々を迎える



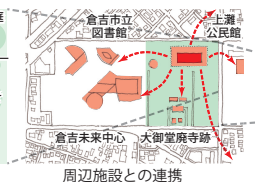
創作テラスから『ひろま』へと活動がつながる

⇒大屋根の下に様々な体験が立体的に展開する『ひろま』

とっとりから世界へ



美術館と多様な広場の連携



周辺施設との連携



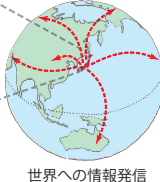
地域との連携



県内の施設との連携
(鳥取ミュージアムネットワーク)



日本中への情報発信



世界への情報発信

今からみらいへ

2020 事業契約締結

2022 着工

2025 竣工 開館

2028 3周年

15年度目

2040



設計ワークショップ



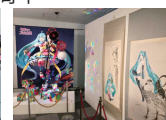
建設中の市民見学会



創作ワークショップ



屋外パフォーマンス



ポップカルチャー展



アートフェスティバル

「県内のあらゆる場所で
アートが開く、創造性と
活力に満ちた鳥取県」

居心地の良い『ひろま』を中心に展開する多様な体験 出会いと発見をもたらす豊かな回遊性

●多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



多様な視線の交錯によって生み出される創造性のあふれる『ひろま』の雰囲気

●諸室と連携して多様な活用が可能な『ひろま』 美術ラーニングセンターとして機能する

≫地域に根差したコミュニティと文化を創造・発信する拠点となります



ワークショップ

観る 創る 学ぶ 遊ぶ

ワークショップ ホール 県民ギャラリー
ボランティア ひろま ショップ
キッズルーム えんがわ レストラン
美術ラーニングセンターとしての機能

食べる 作る 発信する



展示

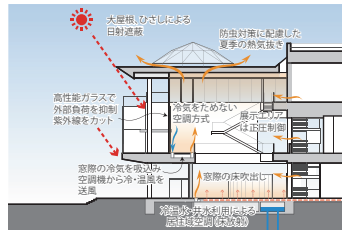


パフォーマンス



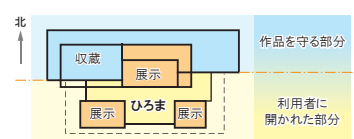
結婚式

●快適な心地の良い『ひろま』の実現



居住域空調と自然エネルギーの活用

●明快な平面、断面による機能性とわかりやすさ



平面ダイアグラム



断面ダイアグラム



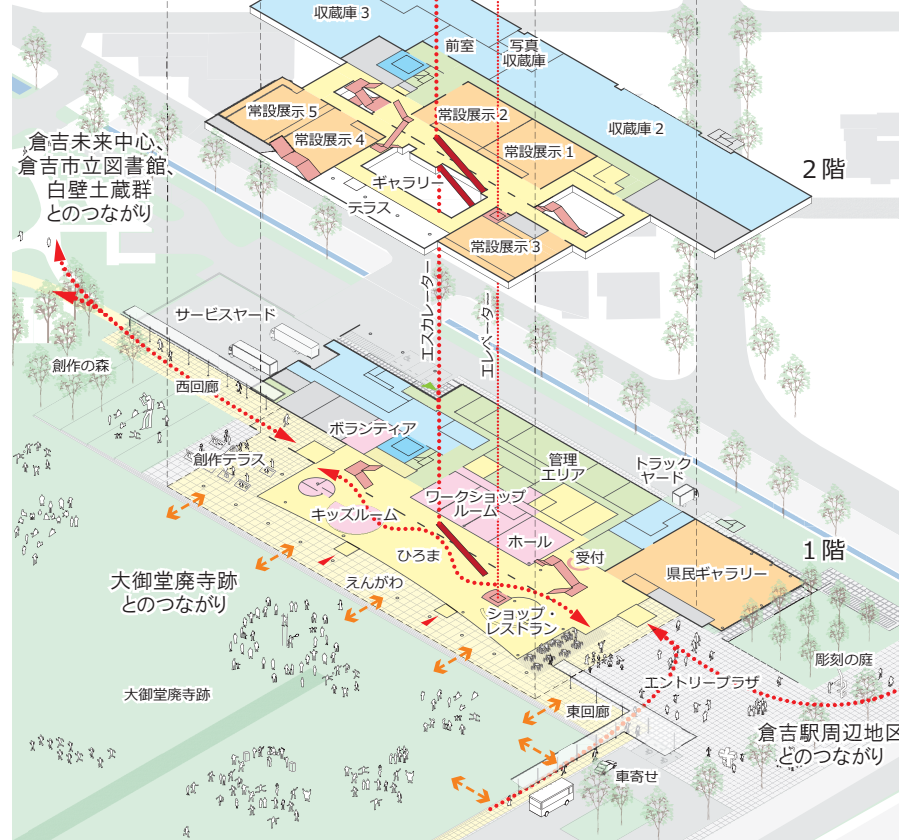
鳥取砂丘 風紋



倉吉絣



智頭杉



大御堂廃寺跡を一望できる展望テラス



魅力的な展示でにぎわう企画展示室



創作テラスとつながるキッズルーム

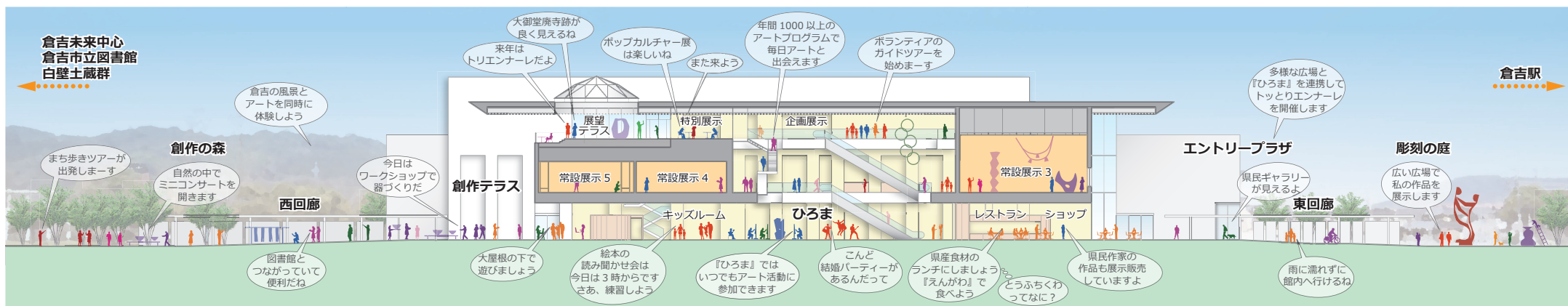


広く明るいエントランスロビー



大御堂廃寺跡と連携した催しのイメージ

“アートピアとっとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます

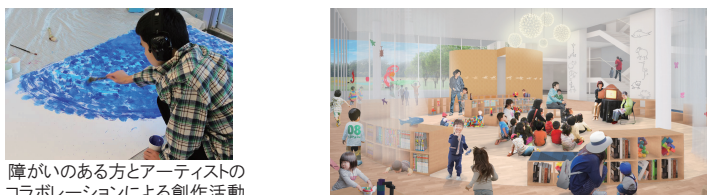


●毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館

- ▶ 1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- ▶ 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- ▶ 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所”“サードプレイス”としても利用できます



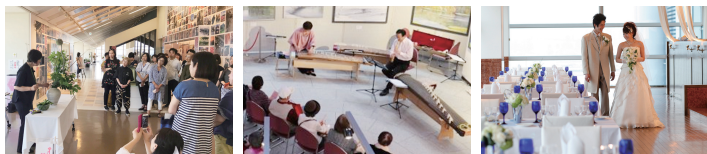
子どもたちとの創作ワークショップのイメージ



障がいのある方とアーティストの
コラボレーションによる創作活動

キッズルームでの絵本の読み聞かせ会のイメージ

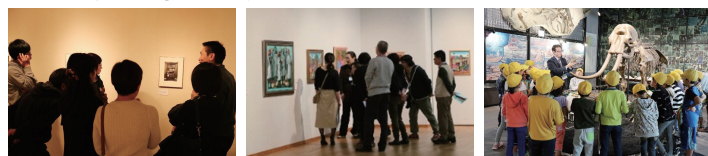
- ▶ 『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます
様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、
愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



『ひろま』はパフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

●「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- ▶ 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなでつくる美術館を両立します
- ▶ 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催

- ▶ 鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
- ▶ 独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
- ▶ 美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



ポップカルチャー展と連動したイベントも開催します



運営企業の多彩なポップカルチャー展の実績

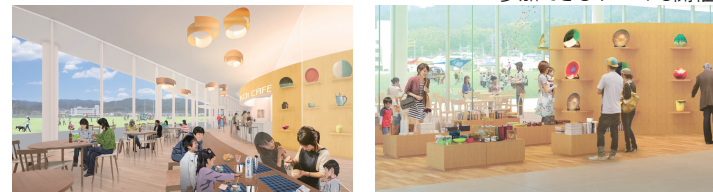
運営企業が運営する
サイトを活用して広く発信

●県民の“あったらいいな”でつくるアートな日常

- ▶ レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- ▶ 食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- ▶ ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- ▶ レストランでも様々なイベントを開催します



トークイベントなど市民が
参加できるイベントも開催



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

●県民が主役となる美術館を創ります

- ▶ 県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくります
- ▶ 3年に一度、トットリエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを拡げていき、たくさんの人々を呼び込みます



トットリエンナーレでにぎわう美術館のイメージ “アートピアとっとり”の実現に向けて